

日本天文学会 1987年 春季年会

プログラム

月 日 昭和62年5月12日(火)~14日(木)

場 所 京大会館： 〒606 京都市左京区吉田河原町 15-9

電話 075-751-8311 (会場臨時 075-761-2100)

		午前 9時	10	11	12	午後 1	2	3	4	5	6時	講演 番号
月 日	会場	9:15 分 野				分 野						
5月12日 (火)	A	我々の銀河系			評 議 会	観測機器・その他				公 開 演 会	A	
	B	恒 星				恒 星 (超新星)					B	
5月13日 (水)	A	星 間			(注)	星 間		総 会		懇 親 会	A	
	B	太 陽				太 陽 系					B	
5月14日 (木)	A	星 間		ポスター ディスカ ッション	理 事 会	力学・位置・宇宙			ポスター セッション	A		
	B	銀河・銀河団				銀河・銀河団				B		

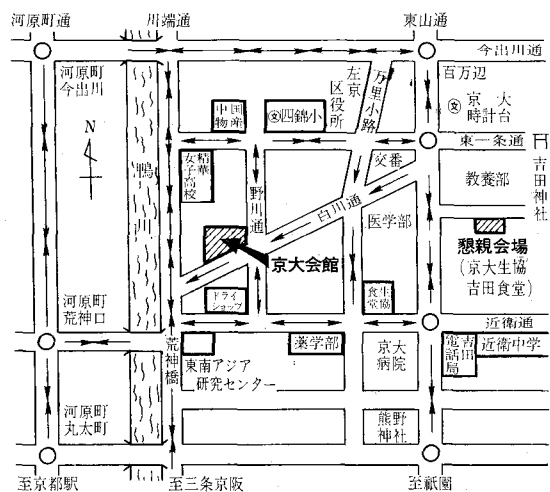
- 講演割当時間は8分です。
- ポスターセッション用に1階会議室を用意しました。このセッションへ割当てられた講演数は36で、該当する方へは案内書を送りました。なお第3日11時からポスター講演のためのディスカッション用時間帯を設けました。
- Post dead-line papers 用に第3日午後4時半からB会場を(数によっては、A会場も)確保しました。
- スライドは透視した時に正しい上下関係になるようにして、その手前側上方に講演番号と氏名、映写順序番号を書き、下縁に5mm位の赤線をつけて下さい。ビラは用いず、スライドまたはオーバーヘッドプロジェクターをご利用下さい。
- 懇親会は第2日午後6時から京大生協吉田食堂(年会場より徒歩5分)で行ないます。
- 『超新星』を主題に一般向け公開講演会を開催します。この講演会は第1日、午後5時半から8時までA会場を使用します。

(注) 第2日昼休み「東京天文台改組について」の懇談会を開きます(責任者: 庶務理事)。多数の参加を呼びかけます。

◎ 総会予告

5月13日(水)午後4時より昭和62年度総会を開催します。会場は年会場1階講演室(A会場)です。

主な内容は、昭和61年度諸報告、決算報告、会計監査報告、昭和62年度予算案、次期役員選挙、天体発見賞贈呈案などです。



- ・京都駅より市バスA2のりば (206) 東一条
- ・四条京阪より(南座向い) (201) (31) 下車
- ・三条京阪南口より 京都バス 5番のりば 出町柳經由系統 荒神橋下車「お願い」上記所在地をお確めの上お越し下さい。

会場 A (一階講演室)

第1日 5月12日(火) 午前9時15分より 会場 A

- A 1 銀河ディフューズX線と ^{26}Al -decay γ 線の Wolf-Rayet 説について: 松岡 勝 (理研)
 A 2 オリオン領域の輝線星探査 I: 吉田重臣, 小暮智一, 仲野 誠 (京大理), S. D. Wiramihardja (ボスカ天文台), 小倉勝男 (国学院大), 岩田隆浩 (名大理)
 A 3 B6 周辺の星の uvby β 測光観測: 関 宗蔵 (東北大教養), 山崎篤磨 (東大教養)
 A 4 銀河中心領域での分子雲の形成: 斎藤 衛 (京大理)
 A 5 SPARTAN 1 による銀河中心の X 線観測: 河合誠之 (理研), E. Fenimore., J. Middleditch (LANL), R. Cruddace, W. Snyder, G. Fritz (NRL), M. Ulmer (Northwestern Univ.)
 A 6 銀河中心より到来するデカメーター電波パルス波形の実証: 大家 寛, 飯島雅英, 森岡 昭 (東北大理)
 A 7 A STUDY OF THE RADIO SPECTRAL INDEX IN THE GALACTIC CENTRE REGION: W. Reich (東京天文台野辺山/MPIfR), 祖父江義明 (東大理)

休 憩

- A 8 A MAP OF RADIO SPECTRAL INDICES FOR THE ENTIRE NORTHERN SKY: P. Reich, W. Reich (東京天文台野辺山/MPIfR)
 A 9 銀河面近傍の広がった電波成分の性質: 半田利弘 (東京天文台野辺山), 祖父江義明 (東大理), E. Fürst (MPIfR)
 A10 銀河ハルジの化学進化: 佐場野 裕, 隈井泰樹, 土佐 誠 (東北大理)
 A11 銀河系の化学進化 II: 隈井泰樹, 佐場野 裕, 土佐 誠 (東北大理)
 A12 Thick disk R 方向分布の model prediction: 山縣朋彦**, 吉井 譲* (*東京天文台, **東大理)
 A13 銀河系の Kinematic Warp II: 宮本昌典, 吉澤正則, 鈴木駿策 (東京天文台)
 A14 巨大分子雲と渦状腕による恒星系の力学的進化: 安富 允, 藤本光昭 (名大理)
 A15 パーカー不安定におけるコロナの効果: 松元亮治, 堀内敏朗 (京大理), 柴田一成 (愛知教育大), 花輪知幸 (名大理)

第1日 5月12日(火) 午後1時より 会場 A

- A16 科学衛星“ぎんが”: 榎野文命 (宇宙研), “ぎんが” チーム (宇宙研, 東大理, 名大理, 阪大理, 理研, 立教大, 阪市大, レスター大, ラザフォード研, ラスアラモス研)
 A17 “ぎんが” 搭載大面積比例計数管: 大橋隆哉, 牧島一夫 (東大理), “ぎんが” チーム (宇宙研, 東大理, 名大理, 阪大理, レスター大, ラザフォードアップルトン研)
 A18 「ぎんが」搭載ガンマ線バースト検出器: 吉田篤正 (宇宙研) 他「ぎんが」チーム (宇宙研, ロスアラモス研, 宇宙線研, 立教大, 理研)
 A19 『ぎんが』搭載の全天モニター (ASM) 装置: 常深 博, 北本俊二, 宮本重徳 (阪大理), 他『ぎんが』チーム
 A20 X線反射鏡の開発-V: 田原 譲, 対馬正晴, 丑丸直子, 栗木久光, 紀伊恒男, 長瀬文昭 (名大理)
 A21 X線望遠鏡の幾何光学的収差について: 成相恭二 (東京天文台)
 A22 多天体同時測光による測光精度: 西川 淳 (東大理・東京天文台)
 A23 天体物理データの主成分解析: 湯浅 学, 海野和三郎 (近畿大理工総研)
 A24 日本 TI 社製 CCD を用いた天文用カメラ: 趙 昭旺 (雲南天文台), 乗本祐慈, 清水 実 (東京天文台), 藤井一郎 (日本 TI), J. Hynecsek (米 TI), 川上 肇 (東大理)
 A25 高感度 TV カメラによる天体スペckル観測: 野口本和, 磯部瑠三, 乗本祐慈 (東京天文台), 馬場直志 (北大工)
 A26 二次元偏光撮像装置の開発: 武市盛生*, 佐々木敏由起 (*浜松ホトニクス, 東京天文台)
 A27 Ge:Ga 遠赤外線検出器の開発: 廣本宣久, 高見英樹 (電波研), 斉藤 稔, 奥田治之 (宇宙研)

休 憩

- A28 広視野電波パトロールカメラ用デジタル複素振幅イコライザーの開発: 大師堂経明, 遊馬邦之 (早大教育), 小原啓義, 小松進一 (早大理工), 長根 潔 (東京天文台野辺山)
 A29 デジタル複素振幅イコライザーによる位相制御: 遊馬邦之, 大師堂経明 (早大教育), 小原啓義, 小松進一 (早大理工), 長根 潔 (東京天文台野辺山)
 A30 SIS 受信機の広帯域光学系: 稲谷順司, 春日 隆, 石黒正人, 坪井昌人 (東京天文台野辺山), 増田剛徳 (三菱電機, 通信機製作所)
 A31 A VERY LOW-NOISE SIS RECEIVER USING Nb/Al-AIO_x/Nb JUNCTIONS FOR 40 GHz BAND (II): 坪井昌人, 稲谷順司, 坂本彰弘, 春日 隆, 川辺良平, 岩下浩幸, 宮澤敬輔 (東京天文台野辺山)
 A32 SIZE EFFECT OF Nb/Al-AIO_x/Nb SIS JUNCTION: 坂本彰弘, 稲谷順司, 坪井昌人 (東京天文台野辺山)
 A33 デジタル分光相関器のオーバーフローによるゴーストスペクトルの解析: 奥村幸子 (東大理), 近田義広,

会場 B (二階大会議室)

第1日 5月12日(火) 午前9時15分より 会場 B

- B 1 星震学の観測的試み: 安藤裕康, 渡辺悦二, 湯谷正美, 清水康広 (東京天文台)
 B 2 早期型星 ζ Oph の非動径振動について: 神戸栄治 (東大理), 安藤裕康, 家 正則 (東京天文台), 平田龍幸 (京大理)
 B 3 激変星 SU UMa 型の食の光度曲線: 廣瀬雅人, 尾崎洋二 (東大理)
 B 4 晩期型巨星・超巨星の SiO 同位体比: 浮田信治, 海部宣男 (東京天文台野辺山)
 B 5 超低温度星の近赤外偏光測光観測: 小林行泰 (東京天文台)
 B 6 CO ミリ波分光による赤色巨星の外周囲構造と質量放出: 辻 隆¹, 海野和二郎², 海部宣男³, 浮田信治³, S. Cho³, 泉浦秀行⁴, 小山晃一² (¹東京天文台, ²近畿大理工総研, ³東京天文台野辺山, ⁴東大理)
 B 7 光学域で明るい炭素星における HCN メーザー: 泉浦秀行 (東大理), 浮田信治, 海部宣男 (東京天文台野辺山), 辻 隆 (東京天文台), 海野和二郎, 小山晃一 (近畿大理工総研)
- 休 憩
- B 8 ミラ型星の周期の離散力学的考察: 西城恵一 (科学博物館), 渡辺 誠 (富山市科学文化センター)
 B 9 M型星の波長 $2.7\ \mu\text{m}$ の赤外吸収: 野口邦男 (名大理)
 B 10 M型星のまわりの dust shell: 田辺俊彦 (東京天文台), 中田好一, 橋本 修, 上條文夫 (東大理)
 B 11 食連星 U Cep と ϵ Aur の光電測光: 西村彰洋, 佐藤文男 (兵庫教育大)
 B 12 食連星 AB Cas の分光観測: 岡崎 彰 (津田塾大), 中村泰久 (都立駒場高), 片平順一 (堺市科学教育研)
 B 13 近接連星の重力減光 IV. 半分離系の解析: 中村泰久 (都立駒場高), 北村正利 (東京天文台)
 B 14 半分離連星系中の質量エネルギー輸送: 海野和二郎, 木口勝義 (近畿大理工総研)
 B 15 SS 433 変光の解析: 中田好一 (東大理), 小平桂一 (東京天文台)

第1日 5月12日(火) 午後1時より 会場 B

- B 16 子午面環流の数値計算法: 江里口良治 (東大教養), E. Müller (MPA), 蜂巢 泉 (LSU)
 B 17 高密度星におけるアクシオン制動輻射過程 I. フォノン過程の寄与の理論: 中川政之, 足立朋生, 神山泰治, 伊藤直紀 (上智大理工)
 B 18 高密度星におけるアクシオン制動輻射過程 II. フォノン過程の寄与の数値結果: 足立朋生, 中川政之, 神山泰治, 伊藤直紀 (上智大理工)
 B 19 Weber-Davis 理論による星風の解析 (IV): 斎藤泰通 (岩手大教育)
 B 20 重力波と結びついた中性子星の共鳴振動: 小嶋康史 (京大理)
 B 21 カオスをつくる非断熱振動子: 竹内 峯 (東北大), 田中靖夫 (茨城大教育)
 B 22 Nonlinear Oscillation of Magnetosphere around Compact Objects: 花見仁史, 坂下志郎 (北大)
 B 23 差動回転するディスクの安定性: 観山正見, 関谷 実 (京大理)
 B 24 物質速度 v^r, v^θ, v^ϕ を考慮した降着円盤モデル: 桑原富美子 (立教大理)
 B 25 Supercritical accretion: 蓬茨雲運 (立教大理)
 B 26 一般相対論的降着円盤の熱的不安定性: 角張健一, 蓬茨雲運 (立教大理)
 B 27 ブラックホール+降着円盤系のカラー写真 I: 横山卓史, 福江 純 (大阪教育大)

休 憩

- B 28 ブラックホール+降着円盤系のカラー写真 II. 光度曲線: 福江 純, 横山卓史 (大阪教育大)
 B 29 X線バースト中の0.65秒振動: 村上敏夫, 井上 一 (宇宙研), 蓬茨雲運 (立教大理)
 B 30 新星をおこした星が超新星になる可能性について: 加藤万里子 (慶応大), 野本憲一 (東大教養)
 B 31 大マゼラン雲の超新星 (SN 1987a) の Progenitor について: 野本憲一, 橋本正章, 茂山俊和, 杉本大一郎 (東大教養)
 B 32 大マゼラン雲の超新星 (SN 1987a) の爆発モデル: 茂山俊和, 野本憲一, 橋本正章, 杉本大一郎 (東大教養)
 B 33 SN 1987a の回転重力崩壊モデル: 中村卓史 (京大理), 福来正孝 (基研)
 B 34 KAMIOKANDE における超新星ニュートリノの観測: 平田慶子, 梶田隆章, 小柴昌俊, 中畑雅行, 大山雄一, 佐藤伸明, 鈴木厚人, 瀧田正人, 戸塚洋二 (東大理), 木舟 正, 須田英博 (宇宙線研), 高橋嘉右, 谷森 達 (高エネ研), 宮野和政, 山田正史 (新潟大理), E. W. Beier, S. B. Kim, A. K. Mann, F. M. Newcomer,

会場 A (一階講演室)

- 石黒正人, 神沢富雄, 半田一幸 (東京天文台野辺山)
- A34 鹿島局と第2期 TDRS スペース VLBI 実験: 徳丸宗利, 雨谷 純, 川口則幸 (電波研鹿島), 西村敏充, 高野 忠 (宇宙研), 平林 久, 森本雅樹, 井上 允 (東京天文台野辺山), G. S. Levy, R. P. Linfield, J. S. Ulvestad (JPL)
- A35 国際地球回転事業における VLBI 試験観測スケジュール: 吉野泰造, 高橋幸雄 (電波研鹿島), 横山紘一, 真鍋盛二 (緯度観測所)
- A36 327 MHz でのパルサー電波観測: 小島正宜, 丸山一夫, 石田善雄 (名大空電研), 平林 久, 御子柴 廣, 宮地竹史 (東京天文台野辺山), 藤本真克, 松田 浩 (東京天文台)
- A37 野辺山 45 m 望遠鏡のアンテナ能率 (II): 宮沢和彦, 鷹野敏明, 井上 允, 長谷川哲夫, 北村良実 (東京天文台野辺山)
- A38 マイクロコンピュータを用いた名大 4 m 鏡用分光データ処理装置: 野澤悟徳, 杉谷光司, 小川英夫, 福井康雄 (名大理)
- A39 波長 8 CM ラジオヘリオグラフィの低雑音化と宇宙電波観測: 鯨目信三, 柴崎清登, 西尾正則, 鳥居近吉 (名大空電研)
- A40 加速された detector の観測する温度の起源: 森川雅博 (阪大理)

第2日 5月13日 (水) 午前9時より 会場 A

- A41 短寿命星間分子の電気双極子モーメントの決定: 金田博幸, 山本 智, 齋藤修二 (名大理)
- A42 暗黒星雲中の強い未同定分子スペクトル線群の発見: 海部宣男, 鈴木博子, 大石雅寿, 宮地竹史, 石川晋一, 春日 隆, 森本雅樹 (東京天文台野辺山), 齋藤修二 (名大理)
- A43 星間分子の実験室における分光と U 45379 を含む 14 本の U ラインの同定: 齋藤修二 (名大理), 川口健太郎 (分子研), 山本 智 (名大理), 大石雅寿, 鈴木博子, 海部宣男 (東京天文台野辺山)
- A44 新星間分子, CCS ラジカル検出と U ラインの同定: 川口健太郎 (分子研), 齋藤修二, 山本 智 (名大理), 大石雅寿, 鈴木博子, 海部宣男 (東京天文台野辺山)
- A45 イオウを含む炭素鎖分子 C_3S の検出: 山本 智, 齋藤修二 (名大理), 川口健太郎 (分子研), 海部宣男, 鈴木博子, 大石雅寿 (東京天文台野辺山)
- A46 C_2S , C_3S の量子化学計算: 村上明徳 (北大理)
- A47 新星間分子 C_6H (\tilde{X}^2II_i) の発見: 大石雅寿, 鈴木博子, 海部宣男, 石川晋一, 春日 隆 (東京天文台野辺山), 村上明徳 (北大理), 齋藤修二 (名大理), 川口健太郎 (分子研)
- A48 リングラジカル C_3H の発見: 鈴木博子¹, 山本 智², 齋藤修二², 大石雅寿¹, 石川晋一¹, 海部宣男¹ (¹東京天文台, ²名大理)
- A49 NGC 2264 IRS の NH_3 マッピング: 森田耕一郎, 川辺良平, 鷹野敏明, 奥村幸子¹, 春日 隆, 石黒正人 (東京天文台野辺山, ¹東大理)

休 憩

- A50 星形成領域, 双極流天体の NH_3 , H_2O 線サーベイ: 春日 隆, 川辺良平, 森田耕一郎, 鷹野敏明, 石黒正人, 村田泰宏 (東京天文台野辺山), 小暮智一, 中野 誠, 吉田重臣 (京大理)
- A51 干渉計による双極流天体 NGC 2071 の H_2O 観測: 川辺良平, 奥村幸子*, 石黒正人, 近田義広, 半田一幸, 岩下浩幸, 神沢富雄, 春日 隆, 森田耕一郎, 小林秀行*, 村田泰宏*, 高橋敏一, 秋山和英*, 青木哲郎*, 関口昌由* (東京天文台野辺山, *東大理)
- A52 双極分子流のエネルギー・スペクトル: 長谷川哲夫 (東京天文台野辺山)
- A53 星間分子ガスは双極分子流の収束に寄与するか?: 高羽 浩, 福井康雄 (名大理)
- A54 Discovery of a CO outflow in Mon R1: Yang Ji, C. P. Liu, H. Kimura (Purple Mountain Observatory), 岩田隆浩, 福井康雄 (名大理)
- A55 L 1551 分子雲のバイポーラ・バブル: 林 正彦 (東大理), J. Bally (ベル研), 海部宣男 (東京天文台野辺山), R. W. Wilson (ベル研)
- A56 W58 領域の回転する円盤構造——微分回転の発見: 面高俊宏¹, 林 正彦², 海部宣男³, 仲野 誠⁴, 長谷川哲夫³, 新庄克彦², 鷹野敏明³ (¹鹿児島大教養, ²東大理, ³東京天文台野辺山, ⁴京大理)
- A57 NGC 7538 分子雲の回転ディスクについて: 亀谷 収, 長谷川辰彦, 平野尚美, 梅本智文, 中山正敏, 高窪啓弥 (東大理), 関 宗蔵 (東北大教養)

第2日 5月13日 (水) 午後1時より 会場 A

- A58 NGC 2071 の高温高速分子流: 鷹野敏明 (東京天文台野辺山), 福井康雄 (名大理), G. Winnewisser (Univ. Cologne)
- A59 ρ Oph-east compact outflow と高密度コアとの相互作用: 水野 亮, 福井康雄, 岩田隆浩 (名大理), 鷹野敏

会場 B (二階大会議室)

- R. Van Berg, W. Zhang (ペンシルバニア大)
- B35 LMC の超新星と重ニュートリノの質量: 高原まり子, 佐藤勝彦 (東大理)
- B36 超新星 1987a からのニュートリノバーストの理論的解析: 佐藤勝彦, 鈴木英之 (東大理)
- B37 Proto-neutron star からのニュートリノ放出と, LMC Supernova: 鈴木英之, 佐藤勝彦 (東大理)
- B38 『ぎんが』衛星による超新星 SN 1987 A の X線観測: 田中靖郎¹, 満田和久¹, 他ぎんがチーム (¹宇宙研, 東大理, 名大理, 阪大理, 理研, 大阪市立大理)
- B39 『ぎんが』搭載の ASM による観測 (速報): 北本俊二, 常深 博, 宮本重徳 (阪大理), 他『ぎんが』チーム
- B40 SN 1987a と SN 1572 (Tycho) の残骸からの X線輻射: 伊藤 裕 (京大理), 政井邦昭 (名大プラ研), 野本憲一 (東大教養)

第2日 5月13日 (水) 午前9時より 会場 B

- B41 INTERPLANETARY DOPPLER SCINTILLATION OBSERVATIONS OF "SAKIGAKE" IN FEBRUARY 1986: 渡辺 堯 (名大空電研), 広沢春任, 山本善一 (宇宙研)
- B42 極域白斑と磁場の位置比較: 牧田 貢, 泉浦秀行, 名取 正 (東京天文台, 東大理*)
- B43 プラージュ領域における磁場の形状: 川上新吾 (京大理), 牧田 貢 (東京天文台)
- B44 K線の wing に現われる連続スペクトル: 末元善三郎, 日江井栄二郎*, 中込慶光* (*東京天文台)
- B45 彩層 Dark Band について: 當村一朗 (京大理天文台)
- B46 太陽マグネトグラフの感度較正: 桜井 隆 (東京天文台)
- B47 静止型プロミネンス中の周期振動 IV: 椿 都生夫, 豊田 実, 末松芳法 (滋賀大教育)
- B48 フレアにおける2種類の加速について: 大木健一郎 (東京天文台)
- B49 マイクロ波と X線によるフレアの観測: 中島 弘¹, 高倉達雄, 新田就亮², 大木健一郎¹ (¹東京天文台, ²メリーランド大)

休 憩

- B50 太陽背面フレアの X線・, マイクロ波観測: 小杉健郎 (東京天文台)
- B51 MSDP データの解析 I: 花岡庸一郎, 北井礼三郎, 一本 潔 (京大理天文台), R. Muller (Pic du Midi 天文台), P. Mein (Meudon 天文台)
- B52 黒点活動の 17ヶ月周期性: 秋岡眞樹 (京大理), 久保田 諄 (花山天文台), 鈴木美好 (川越高), 一本 潔, 當村一朗 (京大理天文台)
- B53 Magnetic Shear の発達形態とフレア: 黒河宏企, 花岡庸一郎, 川上新吾 (京大理天文台)
- B54 コロナル・ホール の微分回転について: 鈴木美好 (川越高), 久保田 諄 (花山天文台), 一本 潔, 當村一朗 (京大理), 黒河宏企 (京大理天文台)
- B55 太陽・恒星対流層の本質的性質について: 近藤正明 (専修大)
- B56 太陽内部の音速分布を求める試み: 関井 隆, 柴橋博資 (東大理)
- B57 H α 単色像より求めた AFS の速度場: 末松芳法, 平井佳奈子, 椿都生夫 (滋賀大教育)
- B58 浮上磁場の 2次元 MHD モデル: 柴田一成 (愛知教育大), 松元亮治, 堀内敏朗 (京大理), 花輪知幸 (名大理), R. Rosner (ハーバード大)

第2日 5月13日 (水) 午後1時より 会場 B

- B59 1985年11月12~13日のハレー彗星のイオンの尾: 高遠徳尚, 渡部潤一 (東大理), 新島恒男 (YGCO), 新井優 (高橋製作所), 齋藤尚生 (東北大), Lin Zong-li (北京天文台)
- B60 ハレー彗星の核の内部構造: 渡部潤一¹, 川上 肇¹, 高岸邦夫², 富田弘一郎³, 古在由秀², 木下 宙², 中村

会場 A (一階講演室)

明 (東京天文台野辺山)

- A60 IC 1396 を取り巻く分子雲: 大橋永芳, 杉谷光司, 福井康雄 (名大理)
 A61 Ori-north 及び Mon-R2 分子雲の広域 CO サーベイ: 岩田隆浩, 福井康雄 (名大理)
 A62 分子雲コアと IRAS 点源: 杉谷光司, 福井康雄 (名大理)
 A63 分子流天体と IRAS 点源: 福井康雄, 高羽 浩 (名大理)
 A64 L 1251 における 2 個の分子流天体: 佐藤文男 (兵庫教育大), 福井康雄 (名大理)
 A65 赤外反射星雲 GL 490, R Mon のシェル構造: 山下卓也, 佐藤修二 (京大理), 長田哲也 (ハワイ大学), 林左絵子 (東京天文台野辺山), I. Gatley (UKIRT)

休 憩

- A66 IRC+10216 のダストエンベロープ: 田村元秀 (京大理), 浮田信治, 長谷川哲男 (東京天文台野辺山), I. McLean (UKIRT), M. Burton (NASA ARC)
 A67 超新星残骸 γ Cygni に付随する分子雲: 立松健一, 福井康雄 (名大理)
 A68 加速された電離波面の不安定性: 大崎 徹 (龍谷大)
 A69 Herbig-Haro 天体 35 個・Optical Jet 5 個の発見: 小倉勝男 (国学院大), J. R. Walsh (英豪天文台)
 A70 Herbig Be 星 LkHa 198 周辺の分子線観測: 仲野 誠, 小暮智一, 吉田重臣 (京大理), 立松健一 (名大理)
 A71 反射星雲の CO 観測: 田中培生, 長谷川哲夫 (東京天文台野辺山)
 A72 DETAILED STRUCTURE OF B361 CORE: 平野尚美, 長谷川辰彦, 亀谷 収, 中山正敏, 高窪啓弥, 関宗蔵 (東北大理)

第3日 5月14日 (木) 午前9時より 会場 A

- A73 星生成領域の電離水素再結合線 (H 51 α , Ori KL, W3 core): 赤羽賢司, 林 正彦, 長谷川哲夫 (東京天文台野辺山)
 A74 IRAS 天体の光学同定——へびつかい座暗黒星雲領域: 市川 隆, 西田 稔 (京大理)
 A75 暗黒星雲の質量関数: 富田良雄 (京大理)
 A76 孤立暗黒星 L 1221 における星生成: 梅本智文, 亀谷 収, 中山正敏, 平野尚美, 高窪啓弥 (東北大理)
 A77 AMMONIA AND CYANOPOLYINES IN THE EGG BIPOLAR NEBULA: Nguyen-Q-Rieu (東京天文台野辺山, Meudon), Truong-Bach (Meudon), D. Graham (MPIFR)
 A78 T Tau の赤外線・分子線観測: 佐藤修二, 山下卓也, 田村元秀, 周藤浩士 (京大理), 林 左絵子, 田中培生, 海部宣男 (東京天文台野辺山), I. Gatley (NRAO), J. Hough (Hatfield Polytech)
 A79 星周塵の 3 μ m 波長域の高分解能観測: 坂田 朗, 和田節子 (電通大), 中田好一, 尾中 敬 (東大理), A. T. Tokunaga, 長田哲也, K. Sellgren, R. G. Smith (IAUH)
 A80 Galactic Anti-Center 方向の惑星状星雲: 田村真一 (東北大理), R. A. Shaw (リック天文台)
 A81 回転する磁気雲の自己重力による収縮: 羽部朝男 (北大理)
 A82 Interstellar Medium の幾何学: 吉岡 論 (東京天文台・東大理), 池内 了 (東京天文台)

第3日 5月14日 (木) 午後1時より 会場 A

- A83 秦漢時代の暦日 (顯 珣 曆の算法): 古川麒一郎 (東京天文台)
 A84 有限振幅の Van der Pol 型振動: 堀 源一郎 (東大理)
 A85 土星の衛星ヒュペリオンの軌道改良: 畑中至純 (東京天文台)
 A86 永年共鳴 ν_6 における小惑星の離心率変化: 吉川 真 (東大理・東京天文台)
 A87 逆行天体と順行天体の永年摂動: 中井 宏, 木下 宙 (東京天文台)
 A88 静止衛星の位置計算: ビラバットシリソムブーンラップ, 平山智啓 (東京天文台)
 A89 光行差の解析的計算式: 相馬 充 (東京天文台)
 A90 TOKYO PMC による観測プログラム 1987~1989 年: 鈴木駿策, 吉澤正則, 宮本昌典 (東京天文台)
 A91 (1861~1984) 期間のチャンドラー揺動: 若生康二郎, 石川利昭 (緯度観)
 A92 大気励起関数の国際比較 (I): 内藤勲夫, 菊地直吉, 横山紘一 (緯度観)
 A93 インフレーション宇宙での gravitino 崩壊による軽元素光分解: 寺沢信雄, 川崎雅裕, 佐藤勝彦 (東大理)

休 憩

会場 B (二階大会議室)

- 士², 清水 実², 乗本祐慈², 沖田喜一² (¹東大理, ²東京天文台, ³宮崎大)
- B61 ハレー彗星の Ion Tail の位置角: 田鍋浩義, 古川麒一郎 (東京天文台), 竹内端夫, 瀬尾基治, 榮楽正光 (宇宙研)
- B62 Comet Wilson (1986I) の光度について: 香西洋樹, 鳥居泰男 (東京天文台)
- B63 彗星イオンテイルと太陽風の相互作用の室内実験: 南 繁行 (大阪市大工), P. J. Baum (General Research Corp.), G. Kamin (Sandia Lab. Inc.), R. S. White (Univ. California)
- B64 ダスト・パーセント時の塵の諸特性: 向井 正, 向井苑生 (金沢工大), 菊池 仙 (東京天文台)
- B65 流星輻射点の位置の分散の計算: 長沢 工 (東大地震研)
- B66 太陽系小天体にみられる負偏光の説明: 向井苑生, 向井 正 (金沢工大)

休 憩

- B67 小惑星の族のサイズ分布: 三上孝雄 (大阪学院大), 石田蕙一 (東京天文台)
- B68 1984年の Blue clearing と Opposition effect: 赤羽徳英 (飛騨天文台), 岩崎恭輔, 斎藤良一 (花山天文台), 鳴海泰典 (九州東海大工)
- B69 火星永久南極冠の縮小の年変化: 齊藤良一, 岩崎恭輔 (花山天文台), 赤羽徳英 (飛騨天文台)
- B70 1986年10月の木星上層雲の構造について: 佐藤毅彦*, 沢田直樹*, 赤羽徳英**, 川端 潔* (*東大理, **飛騨天文台)
- B71 On the Origin of the Planetary Spin Angular Momentum by Accretion of Planetesimals I. Property of Collision orbits: 谷川清隆, 真鍋盛二 (緯度観測所)
- B72 海王星の形成: 中野武宣 (京大理)
- B73 惑星領域外部の彗星雲について: 山本哲生 (宇宙研), 小笹隆司 (東大宇宙線研)

第3日 5月14日(木) 午前9時より 会場 B

- B74 温度分布の異なる恒星円盤の大局不安定: 穂積俊輔 (京大理)
- B75 非一様重力場でのパーカー不安定 III. 非線形振動: 堀内敏朗, 松元亮治 (京大理), 柴田一成 (愛知教育大), 花輪知幸 (名大理・Max-Planck-Institut)
- B76 渦状銀河の磁場構造: 藤本光昭 (名大理), 沢 武文 (愛知教育大), H. Lesch, M. Krause, R. Beck (MPIfR)
- B77 銀河の渦巻き磁場 IV. BSS 磁場の解の性質: 沢 武文 (愛知教育大), 藤本光昭 (名大理)
- B78 銀河磁場のダイナモ理論 I. 渦状腕 (密度波) の効果: 土佐 誠 (東北大理)
- B79 銀河磁場のダイナモ理論 II. 銀河面に垂直方向のシアアの効果: 千葉柁司, 土佐 誠 (東北大理)
- B80 垂直銀河磁場: 祖父江義明 (東大理)
- B81 垂直磁場をもつ銀河中心円盤における爆発: 梅村 聡, 伊木和男, 柴田一成 (愛知教育大), 祖父江義明 (東大理), 中井直正 (東京天文台野辺山)
- B82 Modified Lagrangian Formalism での輻射流体力学: 森田一彦, 兼古 昇 (北大理)
- B83 非正面衝突による星間雲および銀河の角運動量起源について: 長沢幹夫, 観山正見 (京大理)
- B84 銀河相互作用と活動性: 河原真則, 田原博人, 加藤龍司 (宇都宮大教育)

第3日 5月14日(木) 午後1時より 会場 B

- B85 分子雲リングの形成と銀河中心域へのガス流入: 福長正考, 土佐 誠 (東北大理)
- B86 銀河ハローガスの Ionization Structure: 伊藤昌尚 (東京天文台・東大理), 池内 了 (東京天文台)
- B87 楕円銀河の X線ガスハローの形成 III: 服部 誠, 羽部朝男 (北大理)
- B88 銀河における散逸構造——渦状腕構造: 野桜俊也 (北大理)
- B89 銀河 M82 の CO (J=2-1) マッピング: 中井直正 (東京天文台野辺山), 祖父江義明 (東大理), N. Loiseau, R. Wielebinski (MPIfR), U. Klein (Bonn 大学)
- B90 WIND FROM THE STARBURST NUCLEUS OF NGC 7714: 谷口義明¹, 川良公明², 西田 稔², 田村 眞一¹, 西田実継³ (¹東北大理, ²京大理, ³神戸女子大)
- B91 銀河スケールの双極流: 富阪幸治, 池内 了 (東京天文台)
- B92 星生成銀河 Tol 1924-416 の高分散分光: 家 正則 (東京天文台), M.-H. Ulrich (ESO), M. Peimbert (UNAM)
- B93 矮小楕円銀河における環境効果: 市川伸一 (東大理)
- B94 局部超銀河団における環境効果の検定: 青木哲郎, 市川伸一 (東大理), 岡村定矩 (東京天文台)
- B95 矮小楕円銀河の形成と進化 (III): 中村明子, 土佐 誠 (東北大理)

休 憩

会場 A (一階講演室)

- A94 超対称性的インフレーション宇宙における非熱的バリオン数生成: 横山順一, 佐藤勝彦 (東大理), 小玉英雄 (京大教養)
- A95 非等方宇宙におけるゲージ不変なゆらぎ: 田 光江 (広大理論研)
- A96 大規模銀河流と崩壊粒子宇宙モデル: 富田憲二, 杉山 直 (広大理論研)
- A97 大域的非一様性と $m-z$ relation の非等方性: 佐々木 節 (広大理論研)
- A98 非一様宇宙における $N-z$ relation: 葛西真寿, 佐々木 節 (広大理論研)
- A99 ストリンググループによる銀河形成とバリオンの冷却: 伊沢瑞夫 (東大理), 佐藤文隆 (京大理)
- A100 膨張宇宙での密度ゆらぎの非線形成長 (caustics 発生以後): 郷田直輝 (京大理)
- A101 宇宙の大局構造のトポロジーについて: 岡田理佳, 福江 純, 横尾武夫 (大阪教育大)
- A102 サブミリ波宇宙背景放射の観測 I: 佐藤紳司 (宇宙研), 早川幸男, 松本敏雄, 村上 浩, 松尾 宏 (名大理), A. E. Lange, P. L. Richards (加大, Berkeley)
- A103 サブミリ波宇宙背景放射の観測 II: 松本敏雄, 早川幸男, 村上 浩, 松尾 宏 (名大理), 佐藤紳司 (宇宙研), A. E. Lange, P. L. Richards (加大, Berkeley)

ポスターセッション

- P 1 G.S.W. の結成と“あじさい”の観測: 富田弘一郎, 吉田忠彦, 野子谷一郎 (AES), 中野圭一 (SAO)
- P 2 IMAGINE OF THE OUTFLOW IN CEPHEUS A: 林 左絵子 (東京天文台野辺山), J. BALLY (Bell Lab.), 林 正彦 (東大理)
- P 3 Cep A W75S 領域における H_2O メーザー源の分布: 小林秀行, 浮田信治, 石黒正人, 春日 隆, 森田耕一郎, 近田義広, 奥村幸子, 川辺良平 (東京天文台野辺山)
- P 4 電波ヘリオグラフ計画: 甲斐敬造 (東京天文台), 鰐目信三 (名大空電研), 太陽電波研究者グループ
- P 5 電波ヘリオグラフのアンテナ配列とその性能評価: 柴崎清登 (名大空電研), 小杉健郎 (東京天文台)
- P 6 電波ヘリオグラフの相關器に関する検討: 西尾正則, 小林勝司 (名大空電研), 中島 弘 (東京天文台)
- P 7 S520-8 CN/GUV による乙女座銀河団 α の紫外線観測: 渡辺鉄哉, 小平桂一, 山口朝三, 中桐正夫 (東京天文台), 田中 濟, 尾中 敬, 渡部潤一 (東大理)
- P 8 S520-8 号機搭載用 MCP の開発: 山口朝三, 小平桂一, 渡辺鉄哉 (東京天文台), 松浦恵樹 (浜松ホトニクス)
- P 9 S-520-8 号機搭載用金属鏡の開発: 中桐正夫 (東京天文台), 田中 濟, 尾中 敬 (東大理), 河野嗣男 (金沢大)
- P 10 原子スペクトル線データベース: 平田龍平, 洞口俊博 (京大理)
- P 11 パルサーの電波観測: 平林 久, 宮地竹史, 御子柴 廣 (東京天文台野辺山), 小島正宣, 丸山一夫, 石田善雄 (空電研), 藤本真克, 松田 浩 (東京天文台)
- P 12 TDRS 衛星を利用した宇宙空間 VLBI 実験-II: 森本雅樹, 平林 久, 井上 允, 宮地竹史, 御子柴 廣, 岩下浩幸 (東京天文台), 林 友直, 西村敏充, 高野 忠, 山田隆弘, 市川 勉 (宇宙研), 徳丸宗利, 雨谷 純, 川口則幸 (電波研), G. Levy, R. Linfield, R. Quinn (JPL) et al.
- P 13 さきがけによる太陽圏中性面の観測と HALLEY 彗星に関する準平行 MODEL: 斎藤尚生¹, 青木 勉², 齋藤馨児³, 平尾邦雄⁴, 湯元清文¹, 中川朋子⁵, 鈴木裕見子¹ (¹東北大, ²東京天文台, ³法政大, ⁴東海大, ⁵宇宙研)
- P 14 HALLEY 彗星の 12 月 31 日 KNOT 現象の DUM 法解析と DYNAMIC PRESSURE MODEL: 平尾邦雄 (東海大), 青木 勉 (東京天文台), 南 繁行 (大阪市立大), 渡部潤一 (東大理), 斎藤尚生 (東北大), 齋藤馨児 (法政大)
- P 15 Halley 彗星の 1986 年 1 月 10・11 日 KINK EVENT の観測とその動力学的解釈: 柴楽正光 (宇宙研), 富田弘一郎 (A.E.S.), 斎藤尚生 (東北大), 南 繁行 (大阪市立大), 瀬尾基治 (宇宙研)
- P 16 DIGITAL UNSHARP MASKING 法による HALLEY 彗星の解析と SLIPPING IMF MODEL: 青木 勉 (東京天文台), 斎藤尚生 (東北大), 岡村定矩 (東京天文台)
- P 17 広帯域木星電波観測: 前田耕一郎 (兵庫医大)
- P 18 太陽について: 碓井信光 (日大理工)

会場 B (二階大会議室)

- B96 NGC 1068 中の恒星状特異天体の連続輻射: 兼古 昇, 佐藤哲也 (北大理), 佐々木 実 (京大理)
- B97 Vir A, 22 GHz 連続波の干渉計観測: 村田泰宏*, 川辺良平, 石黒正人, 岩下浩幸, 奥村幸子*, 春日 隆, 神沢富雄, 小林秀行*, 高橋敏一, 近田義広, 森田耕一郎 (東京天文台野辺山, *東大理)
- B98 セイファート銀河 NGC 4151 の中心核の変光: 大谷 浩 (京大理)
- B99 KUG 2259+157 の分光解析: 前原英夫, 野口 猛 (東京天文台)
- B100 e^+ 対を考慮したプラズマの時間発展: 高原文郎 (東京天文台)
- B101 相対論的ジェットと系外電波源の統計 (II): 森沢勝郎 (東大理), 高原文郎 (東京天文台)
- B102 降着円盤によって駆動される電磁ジェット: 鎌木 修 (東大理)
- B103 磁気捻れモデルの銀河ジェットへの応用: 濱武久司¹, 内田 豊^{1,2}, 柴田一成³ (¹東大理, ²東京天文台, ³愛知教育大)
- B104 密小銀河グループ CGCG 202 II: 小平桂一, 家 正則, 岡村定矩 (東京天文台), A. Stockton (UH), 青木哲郎, 橋本 修 (東大理)
- B105 クラスタ銀河におけるアイソフォットの軸比・長軸の位置角: 水野孝雄¹, 渡辺正明², 村上徳伸¹ (¹東京学芸大, ²東京天文台)
- B106 銀河の重力的集団化: 熱力学的理論と数値計算との比較: 伊藤 誠, 稲垣省五 (京大理), W. C. Saslaw (ヴァージニア大)

(一階 102 号会議室)

- P19 てんまによる 1E 2259+586 の観測: 小山勝二 (宇宙研)
- P20 Arcturus の表面温度と, gf -値 (FeI) による影響: 沢田直樹, 横田憲治, 川端 潔 (東京理科大学)
- P21 低温度星の IRAS スペクトルと可視光スペクトル: M. Othman, 石田憲一, 岡村定矩, 西村史朗 (東京天文台)
- P22 DUST SHELL AROUND M MIRA VARIABLES II: 尾中 敬 (東大理)
- P23 微分回転する星の振動的対流モード: 李 宇珉 (東大理)
- P24 降着円盤内の流れについて: 川合 靖, 江里口良治 (東大教養)
- P25 降着円盤コロナからの再結合鉄輝線: 政井邦昭 (名大プラズマ研), 平野辰己 (日立研), 早川幸男, 長瀬文昭 (名大理), 満田和久 (宇宙研)
- P26 X線源 Cir X-1 での臨界量を超える質量降着: 井上 一, 池上 健 (宇宙研)
- P27 「ぎんが」GBD によるガンマ線バースト GB 870303 の観測: 伊藤真之 (宇宙研) 他「ぎんが」チーム (宇宙研, ロスアラモス研, 宇宙線研, 立教大, 理研)
- P28 A型特異星 HR 3831 の高速脈動: 柴橋博資 (東大理), D. Kurtz (ケープタウン大)
- P29 π Ceti の柴外域スペクトルの吸収線同定: 洞口俊博, 平田龍幸, 上杉 明 (京大理)
- P30 断熱脈動に現われる不規則振動について: 相川利樹 (東北学院大工), Charles A. Whitney (CfA)
- P31 Be 星長周期 V/R 変動のモデル: 岡崎敦男 (北海学園大教養)
- P32 近接連星 BL Eri の光学観測: 山崎篤磨 (東大教養), 寿岳 潤 (東京天文台), 関 宗蔵 (東北大教養)
- P33 銀河中心領域の ¹³CO 高分解能観測: 井上 允, 坪井昌人, 浮田信治 (東京天文台野辺山), J. Bally (BTL), M. Morris (UCLA), F. Yusef-Zadeh (NASA/GSFC)
- P34 多体問題のベクトル計算機用コードについて: 松下聖一, 小川原英樹, 反橋 卓, 石沢俊亮 (京大理)
- P35 CLUSTER ANALYSES OF THE LARGE-SCALE STRUCTURES IN THE UNIVERSE: 梅村雅之, 池内 了 (東京天文台), 伊藤昌尚 (東大理), N. A. Bahcall (STSCI)
- P36 天文教具の普及度に関する調査研究: 磯部瑋三, 佐々木五郎 (東京天文台), 瀬尾秀彰, 篠原信雄 (駿台学園)